

| 今後、本市と実施したい取組や提案したいこと | 他の包括連携協定企業と共に実施したい取組 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・若者が来たくなる街づくり、シニアの受け入れに適した福祉と安心のまちづくり ・保育園・幼稚園と老人ホーム等との合体による「生きがいと世代間教育の実践」 ・「ふるさと納税品」の開発 ・連携企業の職員と大学教職員の相互インターンシップ ・防災備蓄に関わる情報交換 ・苫小牧市法人向けセミナーの開催 ・各種イベントへの参加 ・金融リテラシー向上や健康、介護などに関するセミナー開催 ・がんスクリーニング検査やピロリ菌検査などの情報提供や斡旋 ・苫小牧市における健康経営・女性活躍の推進 (フェムテックサービス導入奨励金)に類する支援制度の検討) ・市内企業・学生向けの性教育・健康リテラシー向上施策 (働く女性向け「PMS・月経との付き合い方」セミナー、若年層向け「性教育・避妊リテラシー」講座、人事担当者向け「女性の健康を支える職場づくり」研修) | <ul style="list-style-type: none"> ・企業の宣伝を兼ねた出前授業の受け入れと若者視点からの意見交換 ・福祉施設と学生(含む留学生)との交流 ・グローバル化、国際化への対応と知識・経験の共有 ・苫小牧プラットフォームの形成 ・北洋大学内に「企業交流・開発室」の開設 ・地場企業様の従業員向けセミナー等の開催 ・各社の得意分野を生かした、市民向け・市内の企業向けのイベント・セミナー・研修会 |
| 当日参加企業との意見交換でお気づきの点 | その他 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業の宣伝が多かった。 ・市との協定で何が必要か、何をしたいのか、そして何ができるのかという共通の視点や目的に関して話し合えなかった。 ・各企業が苫小牧市と取り組んでいることを知る機会となった。 ・苫小牧市が進もうとしている方向性を確認できて、非常に良かった。(こどもどもんなかの施策等) ・各企業の取組は去年のものではなく、今年度やってみたい、やった取組を確認した方が議論しやすい。また、事前に共有いただくにより活発な議論となるのではないかと。 ・意見交換というよりも取り組んでいることの発表になっている。 ・事前に話したいテーマをいくつか設定し、意見交換したいグループに移動して意見交換を行ってもよい。 ・企業間の課題共有や、連携の可能性を探る上で非常に有意義だった。 ・異業種の考え方を知ることができ参考になった。 ・同様の機会が今後もあるとよい。 ・初対面のため、決められたテーマでの情報交換の機会があっても良い。 例) 防災についての各社の取組及び、市の取組紹介や課題感の共有など双方向型が望ましい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各企業等が市に対して、どの分野で何ができるのか明示したリストの作成と同じ課題に参加できる企業間の調整と役割分担の明示化。 ・分野別・異業種企業間連携の取組と具体的な実践模索 ・不参加の企業にも報告書を共有し、今後の協定の在り方について意見収集する。 ・市の俯瞰的な方針提示に基づく具体的なテーマに関する意見交換会の方が、集まりやすく、内容も充実する。 ・市からの要望なども議論に追加すると、双方にメリットがあつてよい。 ・持続可能な関係を継続するために、建設的な議論を今後も希望する。 ・これまで接点のない企業等と新たな関係を築く貴重な機会となった。後日、参加企業との面談にもつながり、非常に有意義だった。 ・他の自治体でも協定企業が集う会はあるが、グループ討議は初めてだった。 ・グループ討議に限らず、協定企業が顔を合わせる機会があることは有難い。 ・複数名で参加の企業も多かったのも、もう少し連携企業数自体が集まると良い。 ・事前に参加企業等を共有してもらえると、さらに充実した意見交換になると感じた。 ・協定各社から、取組のプチプレゼンがあると良い。 ・もう少し各グループの人数を減らして意見交換をすると良い。 |